

脱ネオニコ地図

政府・企業 #1

政府がより厳しい規制へ

多くの国民から規制を求める声

生活者がネオニコチノイドの危険性を判断

流通業界が広報・情報提供

生産者と生活者の乖離

- ・ 現状の問題点として、生産者と生活者（消費者を含む）の距離を縮めることが必要。
- ・ 日本の場合、政府を動かすためには、何万人もの声を集めるしかない。

- ・ しかし、ネオニコチノイドという言葉そのものに生活者は馴染みがないので、広報を行い、生活者がネオニコチノイドについて「危険か安全か」を判断できるような情報を提供することが必要になる。
- ・ その役割を担うのは、流通業者である。流通業者が企業の経営判断として、消費者に向けて情報提供を行うべきである。

- ・ 農業の将来展望は有機農業生産にあり、すでに様々な企業が農薬不使用に動いている（ミネラルウォーターの水源地に農薬汚染が起きないように周辺森林管理に農薬を使わないサントリーなど）。
- ・ 有機農業推進法の施行から6年経ったが、いまだに稲作の80%が兼業農家に依拠するなど、問題も残っている。生産者が将来に向けてしっかりと農業を行うことが大事である。

文責・テーブル座長：横山 繁